

第3回公民館のコミュニティセンター化検討部会会議録

会議名	第3回公民館のコミュニティセンター化検討部会
日時	令和元年11月29日(金) 13時30分～15時15分
場所	浜田市役所 4階 講堂 ABC
出席者	委員 12名 浜田市 18名
次第	開会 1 部会長あいさつ 2 議題 (1)公民館及び地区まちづくり推進委員会の現状について (2)検討事項について (3)今後の予定について 3 その他 閉会

(開会 13時30分)

1 部会長あいさつ

2 議題

(1) 公民館及び地区まちづくり推進委員会の現状について

①公民館の現状について

【委員】

自治会長、まちづくり推進委員長、公民館運営委員長、自主防災会長などのあて職がたくさんあり大変であると感じている。旭自治区には公民館運営推進委員会という組織があり連携をとっているが、他の自治区では公民館運営推進委員会が存在するのか、各館の横のつながりはあるのかお聞きしたい。

ちなみに旭自治区では成人を祝う会を5つの公民館で連携をとって開催している。

【委員】

各館に運営委員会委員を20名以内で設置できることになっている。市木公民館は公民館の館

長が主体となって運営しているが、他の公民館がどのような形態をとっているのかはわからない。

【事務局】

各公民館に 20 名以内で設置できる要綱があり、各館に運営推進委員会が設置されているが、各館で運営方法は異なっている。

【委員】

まちづくり推進委員会の会長は 2 年の任期だが、担い手がいないのが大きな問題である。コミセン化後は公民館の館長も常勤になると聞いているが、常勤となるとなり手がいないのではないかという心配がある。やはり館長は地元から選出されるのが良いと思うが、本当に地元から選出できるか不安である。

【委員】

地域内になり手がいなかったら、地域外から採用することもあるのかお聞きしたい。

地域の実情がわからない人が館長になった場合、公民館運営が行えるのか心配である。

もし地域外から新しい館長が来た場合、負担が大きくなるのではないかと。地域から選出することがベストだと思うが、公募という話もあるので今後議論を深めていければと思っている。

【委員】

旧那賀郡の場合、地域内から主事を採用しようと思ってもなり手がいない問題がある。浜田自治区はある程度の人材がいると思うので、浜田自治区と旧那賀郡の現状についても深掘りして検討していかないといけないと思っている。

各館で公民館とまちづくりの現状は大きく異なるので、今後決まりごとを定めていくことになると思うが、どこかの公民館が不利益を被ることがないような仕組み作りを要望していきたい。

【委員】

金城では成人を祝う会を 1 月 3 日の午前中に開催している。まちづくり推進委員会と公民館が共同で開催している。金城自治区の場合、基本的には各公民館エリアにそれぞれまちづくり推進委員会が設立されているが、波佐・小国は縁の里づくり委員会となっている。

まちづくり推進委員会と公民館が連携をとっているが、縁の里づくり委員会は連携をとって活動を行うことが難しく、波佐公民館は縁の里づくり委員会と一緒に活動することは今のところない。

公民館運営推進委員については自治会の方に入ってもらっているが、まちづくり推進委員会の方には入ってもらっていないので、まちづくり推進委員会の活動状況が把握できていないのが現状である。

【委員】

担い手がいないという話が挙がっているが弥栄自治区も同様である。地元から選出されるのがベストだが地域外から人員を確保しなければいけないと思っている。

今後協働によるまちづくりや社会教育を基本としたコミセン化を目指していく中で、館長を担う人は社会教育主事の資格を持っている人が望ましいと思う。ハードルは高いかもしれないが、あきらめずに取り組んでいく必要があると感じている。

【事務局】

公民館長の勤務体系や人選については、この後の関連すべき検討項目の課題の整理の中で取り

上げて議論できればと思っているのでよろしくお願ひしたい。

②まちづくり交付金の現状について

【委員】

まちづくりの取り組みが弱い地域があるが、弱い地域はより多くの支援が必要だと思っている。面積は広いが人口は少ない地域もあり、そのような地域ではまちづくりに対して苦勞されていると思うので、より配慮してもらおうよう考えてもらいたい。

【事務局】

現在のまちづくり総合交付金の制度は令和2年度までなので、令和3年度から新しい交付金制度となる。市としてまちづくり総合交付金を継続することをお示しているのので、今後この検討部会とは別の検討組織を立ち上げて検討していきたい。

【委員】

まちづくり総合交付金の課題解決特別事業は良い制度だと思う。この課題解決特別事業をより拡充してもらいたい。

【委員】

選考委員として審査会に出席しているが、応募が少ないので今後も多くの団体に申請していただければと思う。

【委員】

課題解決特別事業の実践紹介集の中の自己評価欄を見ると、団体によって自己評価がバラバラだが、誰が見ても一定の評価になるような仕組みとならないだろうか。

【事務局】

公民館とまちづくり推進課が共同開催したフォーラムの際の様式を参考に使わせてもらった。ねらいとしてはまちづくり活動を行うだけではなく、活動後の振り返りをしっかりと行うことも大切だと思い、このような報告書を作成していただいた。

公民館が行っている事後評価のノウハウを参考にしながらまちづくり活動においても活用していきたいと思っている。

【委員】

旭自治区にはまちづくり推進委員会が5団体あるが、まちづくり推進委員会の連合体は組織されていない。行政の支援で年に2~3回話し合いの場を設けて情報交換を行っているが、公民館がどのようなまちづくり活動を行っているのかを詳しく把握できていないのが現状である。他の公民館の活動状況について市から情報提供していただきたい。

【委員】

浜田自治区は設立が少なく、人口が比較的多い市街地での設立が遅れているが、市街地にも様々な問題を抱えていると思っている。市街地のまちづくり活動に対しての支援やリーダーの育成を行うべきである。

設立を促すために、市職員や市職員のOBも積極的に地域に入って取り組んでいただきたい。

【事務局】

浜田自治区におけるまちづくり推進委員会の組織率が低いことは承知している。今年度は3つのまちづくり推進委員会が設立されており、少しずつ増えてきている状況である。

担当職員も地域に入ってまちづくり推進委員会の設立に向けた話を行っているので、今後もできるだけ多くのまちづくり委員会を設置していきたいと思っている。

(2)検討事項について

【委員】

公民館をコミセン化するという話だが、公民館という名前を廃止するという事で間違いないか。また、新しい組織として生まれ変わってその新しい組織の中に社会教育部門を受け持つ部会が存在するという認識でよいか。

【事務局】

名称自体はこれからの検討事項であるが、基本的には今ある公民館をベースとして機能をさらに充実させるという話である。新しい組織の中に公民館部門が新しく作られるわけではない。

今ある公民館の機能にまちづくりの要素を付け足すようなイメージを持っていただけたらと思う。

基本的な考え方としては、社会教育の拠点となっている公民館機能をさらに充実していくということである。

コミュニティセンターという名前がわからないというご意見もいただいているので、名称については改めて考えていきたい。場合によっては、公民館という名前が残ることも可能性としてはあるかもしれない。

【委員】

12個の検討項目を一度に協議するのは難しいので、どの項目をいつ議論するのかをあらかじめ教えていただきたい。事前に教えてもらえたら、各公民館へ持ち帰って検討を行って意見をまとめて次の検討部会に臨みたい。

【事務局】

具体的な検討を3回行う予定であることをお知らせしているが、議論の経過によっては4回に増やすことも可能なので、これからの進捗状況によって判断していきたい。

検討部会の進め方としては会議の開催ごとに進めていくには時間が足りないので、事前に議題をお示ししたうえで締め切りまでにご意見をいただき、事務局が意見を整理して次の検討会議で議論する形で進めさせていただきたい。

関連する検討事項について、今日お示しした項目で良いかどうかを12月13日(金)までにまちづくり推進課へご回答いただけたらと思う。いただいた意見を整理して次回開催予定の12月23日(月)にお示ししたい。

また、12月19日(木)には周南市への視察もあり、どのような質問を行うのかの整理になるので、繰り返しになるが、検討事項に対するご意見の提出をよろしく願います。

【委員】

次回の検討部会はいつから開始予定か。

【事務局】

時間は今回と同じ13時30分からである。

(3)今後の予定について

【事務局】

12月19日(木)に周南市への視察を行う。協働のまちづくり推進条例検討委員会及びコミセン化検討部会の委員から16名の参加を承っている。委員に加え市職員も同行する予定である。周南市への質問事項についてまだ受け付けているので週明けにでもご連絡いただきたい。

次回は12月23日(月)に開催予定なのでご出席いただくようお願いする。

(閉会 15時15分)